

(平成29年6月作成)

事務事業評価シート

(H.29)No. 7011 (H.28)No. 7011

事務事業名	伊賀南部環境衛生組合一般会計		
担当部局名	担当室名	室長名	
伊賀南部衛生組合事務局	総務室	中野 雅夫	

会計区分	事業コード	023801
伊賀南部環境衛生組合一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款		
項	(小事業名)	
目	伊賀南部環境衛生組合一般会計	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	2 環境負荷の少ない社会の創造
	施策	2 循環型社会
重点プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
資源循環型社会の構築を目指して、環境に配慮した安全かつ適正な廃棄物の処理を推進します。
事業内容
・組合事務の処理及び廃棄物処理施設を管理する。 ・管内の燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみを収集する。 ・管内のごみをクリーンセンターで焼却処理と分別リサイクル処理をする。 ・ごみ最終処分場の管理運営 ・管内のし尿及び浄化槽汚泥を処理する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	・組合事務の処理及び廃棄物処理施設を管理する。 ・管内の燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみを収集する。 ・管内のごみをクリーンセンターで焼却処理と分別リサイクル処理をする。 ・ごみ最終処分場の管理運営 ・管内のし尿及び浄化槽汚泥を処理する。		
主な事業の実績・計画	・組合事務、廃棄物処理施設の管理業務 14,623千円 ・ごみ(可燃・不燃・資源)収集業務(直営4台、委託16台) 359,319千円 ・最終処分場の施設管理業務 22,815千円 ・し尿処理場の運営管理業務 235,495千円 ・クリーンセンターの運営管理業務 648,083千円 ・ストックヤード施設管理業務 3,842千円	・組合事務、廃棄物処理施設の管理業務 14,817千円 ・ごみ(可燃・不燃・資源)収集業務(直営3台、委託17台) 395,989千円 ・最終処分場の施設管理業務 35,817千円 ・し尿処理場の運営管理業務 218,095千円 ・クリーンセンターの運営管理業務 690,012千円 ・ストックヤード施設管理業務 5,237千円	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
			・組合事務、廃棄物処理施設の管理業務 ・ごみ(可燃・不燃・資源)収集業務 ・最終処分場の施設管理業務 ・し尿処理場の運営管理業務 ・クリーンセンターの運営管理業務 ・ストックヤード施設管理業務	・組合事務、廃棄物処理施設の管理業務 ・ごみ(可燃・不燃・資源)収集業務 ・最終処分場の施設管理業務 ・し尿処理場の運営管理業務 ・クリーンセンターの運営管理業務 ・ストックヤード施設管理業務	・組合事務、廃棄物処理施設の管理業務 ・ごみ(可燃・不燃・資源)収集業務 ・最終処分場の施設管理業務 ・し尿処理場の運営管理業務 ・クリーンセンターの運営管理業務 ・ストックヤード施設管理業務

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		1,284,177千円		1,359,967千円	1,359,967千円	1,359,967千円	1,359,967千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他()		279,758		265,759	265,759	265,759	265,759
一般財源	0	1,004,419	0	1,094,208	1,094,208	1,094,208	1,094,208
人工数							
職員		32.00人		31.00人	30.00人	27.00人	26.00人
臨時職員等		16.00人		17.00人	17.00人	20.00人	21.00人
②概算人件費	0千円	325,784千円	0千円	304,685千円	297,500千円	279,500千円	273,500千円
①+②総事業費	0千円	1,609,961千円	0千円	1,664,652千円	1,657,467千円	1,639,467千円	1,633,467千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
・市民や委託業者と協働して安全かつ適正に廃棄物の収集を行うとともに、周辺環境に配慮しながら各施設を概ね適正に運転管理することができました。 ・浄化センターの操業延長について、地元との協議の結果、最大6年間の延長に係る協定を締結済みであり、平成33年3月までの操業が可能です。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】	継続(現行)
継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)

・廃棄物の処理については、住民の日常生活に密着した事業であることから、市民の理解、協力を得ながらごみの排出削減のための分別・リサイクルを促進しつつ、各施設の安全かつ適正な運転管理及び施設の維持に努めます。

6. 事務事業の取組に関する市の計画

・第5次ごみゼロ社会を目指すアクションプログラム
・名張市総合計画 新理想郷プラン